



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年4月15日（金）

問い合わせ先：文化政策室

室長：吉田

担当：吉田・荒川・近藤・清水

電話：829-1225

内線：2819

さいたま国際芸術祭2023のディレクター委嘱状交付式の時間を変更します

令和4年3月31日に記者発表した「さいたま国際芸術祭2023のディレクターが決定しました～ディレクターへの委嘱状交付式を行います～」について、ディレクターへの委嘱状交付式の時間を変更しましたのでお知らせいたします。

1 ディレクター

現代アートチーム目 [mé]（げんだいあーとちーむ め）

2 略歴

別紙のとおり

3 委嘱状交付式

（1）日時

変更前) 令和4年4月22日（金）午前10時30分から

変更後) 令和4年4月22日（金）午前10時15分から（30分程度）

（2）場所 さいたま市役所4階 市長公室

※委嘱状交付及び市長・ディレクターの挨拶終了後に、市長公室をご退室いただきます。

※委嘱状交付式の後に取材対応の時間を設けますので、ご希望の場合は、退室後、応接室にてお待ちください。

<前回記者発表資料>

市ホームページ>トップページ>市政情報>さいたま市の広報>記者への情報提供>記者への提供資料>令和3年度>令和4年3月>（令和4年3月31日記者発表）さいたま国際芸術祭2023ディレクターが決定しました～ディレクターへの委嘱状交付式を行います～

（URL：<https://www.city.saitama.jp/006/014/008/003/010/012/p087844.html>）

ディレクター 略歴

現代アートチーム目 [mé]

アーティストの荒神明香、ディレクターの南川憲二、インストーラーの増井宏文の3人を中心とする現代アートチーム。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、中心メンバーの個々の特徴を生かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。



【photo】 TAKESHI ABE

《中心メンバー》

・荒神 明香（こうじん はるか）

アーティスト。1983年広島生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。サンパウロ近代美術館（ブラジル）、ジャパン・ソサエティー（ニューヨーク）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で作品を発表。Art Award Tokyo 2007 グランプリ受賞、東京藝術大学卒業制作展 買い上げ賞、作品《reflectwo》東京都現代美術館、サンパウロ現代美術館所蔵。

・南川 憲二（みなみがわ けんじ）

ディレクター。1979年大阪生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。東京藝術大学終了制作展 川俣正賞、Art Award Tokyo 丸の内 2009 グランプリ受賞。

・増井 宏文（ますい ひろふみ）

インストーラー。1980年滋賀生まれ。2008年佛教大学教育学部卒業。2004年成安造形大学造形学部卒業。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。

主な作品

- 2021 《まさゆめ》Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13（東京各所）
- 2019 《非常にはっきりとわからない》千葉市美術館（千葉）
- 2017 《repetition window》Reborn-Art Festival 2017（宮城）
- 2016 《Elemental Detection》さいたまトリエンナーレ2016（埼玉）
- 2014 《たよりない現実、この世界の在りか》資生堂ギャラリー（東京）